

「観光ビジネス」研修プログラム（概要）

1 現状把握	観光は 21 世紀における日本の重要な政策の柱 (観光立国推進基本法)	経済波及効果の大きい観光は、急速に成長するアジアをはじめとする世界の観光需要を取り込むことにより、地域活性化、雇用機会の増大などの効果が期待できる。さらに、世界中の人々が日本の魅力を発見し、伝播することによる諸外国との相互理解の増進も同時に期待できる。訪日観光の振興と同時に、国内旅行振興も重要であるため、地域が一丸となって個性あふれる観光地域を作り上げ、その魅力を自ら積極的に発信していくことで、広く観光客を呼び込み、地域の経済を潤し、ひいては住民にとって誇りと愛着の持てる、活気にあふれた地域社会を築いていくことが不可欠である。
	ニーズ	新学習指導要領に基づく商業高校の新教育課程のうち「観光ビジネス」が 2024 年から開始される。
2 企画立案	研修の位置づけ	「観光ビジネス」「地域活性化」等の研修
	受講対象者	高等学校等関係機関の教員等
	研修回数・時間	年間 2 回（例：90 分程度 講義+ワークショップを 2 コマ実施予定）
3 研修項目の選択	内 容	<p>（参考）前回の【第 1 回】2023 年 8 月 8 日の内容</p> <p>1. 地方自治体の観光政策（90分） 概要：地方自治体の観光政策の概要と地方自治体の観光政策の実施内容について説明後、アンケート調査とデータ分析を通じて観光政策の在り方を学ぶ。 (方法) 生徒自身によるアンケート調査、エクセルを使った単回帰分析をもとに観光政策の具体的な提言までを行う。</p> <p>2. 地域の活性化と観光まちづくりについて（90分） 概要：観光による地域活性化のためには、来訪者のニーズを満たせる「場所」であると同時に訪れる動機となる「魅力」を発信し続けることが大切。注目されている「観光まちづくり」について学ぶ。 (方法) 北九州市にある文化や産業、特徴及び課題についての分析を行う。講義担当者ゼミの地域貢献活動を事例として、北九州市における観光まちづくりの重要性と期待できる効果を考察する。</p>
	目標等	<p>【研修のねらい】 地域の活性化を担うよう、観光ビジネスについて実践的・体系的に理解し、国内に存在する観光客及び海外からの観光客を対象とした観光ビジネスを展開するために必要な資質・能力を育成する視点から設けた。観光資源と観光政策、観光ビジネスとマーケティング、観光ビジネスの展開と効果などの項目で構成。</p> <p>【目標】 実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、観光ビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。